

<目指す学校像>

「こどもも、大人も、みんなの笑顔があふれる学校」

- こどもが夢を描き、心弾ませて通う学校
- 教職員が働く喜びを実感し、誇りをもてる学校
- 保護者が安心し、信頼を寄せてこどもを通わせる学校
- 地域が学校とともにこどもたちを育てる学校

<学校の教育目標>

- 明るく元気でたくましい子
- よく考えすすんで実行する子
- たがいになかよくする子

<目指す教職員像>

- こどもを心から慈しみ、こどものよさや個性を引き出し伸ばす教職員
- 日々研鑽に努めるとともに、協働して磨き合う教職員
- 地域や保護者と共感し、積極的に対話しながら信頼に応える教職員

<学校経営の理念>

学校経営の目標は、教育目標の達成である。教育の目的は、「すべてのこどもたちの幸せ」のためにある。その達成に向けて、学校の努力とともに、保護者・地域から信頼され、連携して教育活動を行っていくことで、こども自身が自分のよさや可能性を認識するとともに、他者を尊重し、社会に関わっていける教育活動を目指していきたい。そのためには、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善をしていく必要がある。さらに、「こどもにとって最大の教育環境は教師自身である」と言われるように、こどもの生き方の範を示すもっとも身近な存在が教師であり、よりよい学びの環境を整えるのも教師である。教師一人一人の不断の努力と人間性の向上が教育の要となる。保護者や地域と学校が一体となり、「チーム十二小」として協力して、こどもたちを育てていきたい。

学校の教育目標達成のための12の施策

1 魅力ある授業の創造【学力向上】

- ① 「朝学タイム」「十二小タイム」による「分かるまで教える」の徹底
- ② 読書旬間や「読書マラソン」による読書活動の充実
- ③ 校内研究の実践による「伝え合う力」を伸ばす指導の工夫
- ④ ゲストティーチャーや学習支援ボランティアの効果的な活用
- ⑤ 学び方をこどもが選択（自己決定）する場の設定
- ⑥ 発達段階に応じた指導の充実と専門性を生かした授業改善（高：教科担任制、中：複数教科交換授業、低：交換授業の実施）

2 健康・安全教育の充実【体力向上】

- ① 問題解決的な学習による体育学習の充実
- ② 外遊びの励行と体育的活動「朝活タイム」の実施
- ③ CSと連携した体育的活動の充実（体力テストの充実）
- ④ 系統的な健康教育の実施
- ⑤ 健康・安全教育、食育への専門的な知識の導入
- ⑥ 水泳の安全指導・管理の徹底安全な水泳指導の推進
- ⑦ 教科等横断的な系統的な安全教育の推進

3 人権意識・規範意識を高める指導【健全育成】

- ① 「考え、議論する」道徳授業の推進
- ② 「十二小学級会スタイル」を基軸にした学級活動の充実
- ③ 人権意識を高める指導・環境づくりの推進
- ④ 発達支持的生徒指導の充実といじめ未然防止・早期対応の組織的な対応
- ⑤ カウンセリングマインドをもった対応と組織的な生活指導の推進
- ⑥ 学校・こども・保護者・地域が一体となった「あいさつ運動」の推進
- ⑦ 整理整頓の指導の徹底と校内美化

4 情報教育の推進（1～3の施策を推進する基盤）

- ① 教師用ICT機器や学習者用端末の効果的な活用
- ② 個別の課題に対応した学習用ソフトの活用
- ③ 「朝学PC」による情報モラル教育の推進
- ④ 情報モラルを基軸とした情報活用能力の育成
- ⑤ プログラミング教育の実践

5 特別支援教育の充実（1～3の施策を推進する基盤）

- ① 通常学級と特別支援学級との交流学习と理解教育の充実
- ② 特別支援教育の視点での環境整備と教育活動の見直し
- ③ 特別支援教室担当と連携した指導とOJT研修の実施
- ④ 校内委員会の充実と関係諸機関や家庭との連携
- ⑤ 不登校等の児童への対応・支援のための研修の実施

6 キャリア教育の推進（1～3の施策を推進する基盤）

- ① 6年生は「十二小の顔」という最高学年としての意識の向上
- ② 上級生が手本となる異学年交流の推進
- ③ 勤労・奉仕活動の充実と社会貢献への意識の向上
- ④ 中学校区を中心とした近隣教育機関と連携した教育活動の推進
- ⑤ キャリアパスポートの効果的な活用

7 研究・研修の活性化（上記の1～6の主要施策を推進する基盤）

- ① 全教員参加型の「学び合い」による授業改善
- ② こどもが自己決定する「学びの選択」を研究に据えた校内研究の推進
- ③ 教員間の授業参観の日常化と他地区の研究発表会への積極的な参加
- ④ 教員の強み（専門性）を生かした校内OJTの実施
- ⑤ 諸研修を通じた実践力・組織力の向上

8 安全点検と環境整備の充実

- ① 「いつもきれいな学校」の徹底
- ② 安全点検の確実な実施と環境整備
- ③ ボランティアと連携した美化活動
- ④ 避難所運営委員会と連携した防災訓練の実施

9 学級経営・学年経営の充実

- ① 副担任制(中高学年)・担任交流(高学年)による児童の支援体制の充実
- ② 毎週の学年会による教員間の情報共有
- ③ 学年単位での対応と全教員での情報共有・組織的対応の徹底
- ④ EA・学習補助員・講師・特支専門員・SC等との情報共有

10 教職員の働き方改革の推進

- ① 教科担任制や交換授業による教材研究の時間の確保
- ② 学習支援ボランティアやスクールサポートスタッフ等の活用
- ③ 業務の効率化と効果的な行事計画によるゆとりある教育活動の展開
- ④ 時差勤務等を推奨や教員一人一人に合った働き方の推進

11 コミュニティ・スクールの推進（上記全て施策を推進する基盤）

- ① 様々な課題に対するプロジェクトチームでの対応
- ② 家庭・地域と連携した教育活動の展開
- ③ 中学校区の小・中連携教育の推進
- ④ 関係幼保や小平西高との連携
- ⑤ 開かれた学校を目指した対話的な情報交換の推進
- ⑥ CS委員及び地域関係者による「熟議」の開催

12 目標達成に向けた合言葉

- 「ほめて伸ばす」…一人一人のよさに目を向け、共感的・受容的態度で励まし育てる。  
※「よさ」とは、特性や長所、得意分野などの強みや努力の過程を指す。
- 「チーム十二小」…学校と地域・保護者全員で連携・協力してこどもを見守り育てる。